

(一般情報)

「ちばのサツマイモ」の品質を支えるために！

～農業者や関係機関と協力してサツマイモウイルスフリー系統を選抜～

農林総合研究センター 令和2年10月14日発

農林総合研究センターでは、サツマイモ産地振興のため、全農千葉県本部を通じて県内の農業者に供給される「ベニアズマ」及び「ベにはるか」のウイルスフリー苗用の優れた親株の選抜・維持を行っています。選抜を担う畑地利用研究室では、令和2年10月8日に現地試験ほ場の収穫調査及び情報交換会を開催しました。試験栽培を委託している農業者及び関係機関の担当者など20名が集まり、親株の候補となる系統の評価を行いました。

情報交換会では、これまで選抜した有望系統の特性や普及性について活発な意見交換が行われました。また、畑地利用研究室からは外観品質に加え、貯蔵性や食味などの新たな視点を取り入れて、今後の選抜に取り組むことを提案し、関係者の理解を得ました。

今後も、農林総合研究センターでは農業者や関係機関と連携し、優良な系統の選抜を通して、サツマイモの収量や品質の向上を図っていきます。



陳列したイモを真剣に評価する出席者



イモが長くなり過ぎず、揃いが良く普及が期待される「ベにはるか」の有望系統